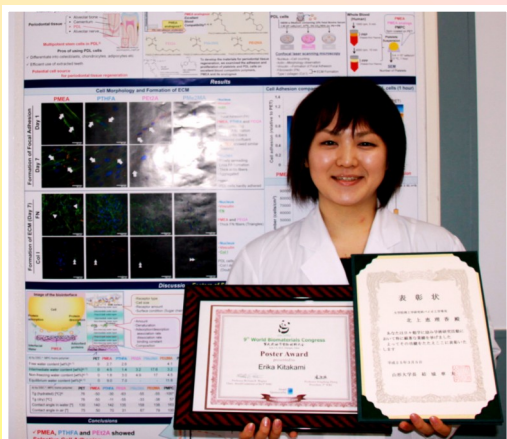


研究紹介・北上恵理香さん

ポスター受賞!!「生体適合性を有した合成高分子材料の開発」



研究ポスターを背に賞を手にする北上さん

2012年6月1～5日に中国で開催された9th World Biomaterials CongressでPoster Award(以下ポスター賞)を受賞した理工学研究科バイオ工学専攻 田中研究室の北上恵理香さん取材しました。

全1700件の応募から100件が選ばれ、更にそのうちの50件がポスター賞を受賞しました。日本人の受賞者は4名で、北上さんはそのうちの貴重な1人です。

北上さんは、「生体適合性を有した合成高分子材料の開発」を行っています。研究室オリジナル合成高分子材料は、生体が異物として認識しない体に優しい(生体適合性)材料であり、すでに医療用製品のコーティング剤として用いられていました。

そこで、このオリジナル材料が組織再生用の培養基材として応用できるのではないかと考えたそうです。次に、組織再生用の細胞源として今まで廃棄されていた“ヒト抜去歯由来幹細胞”を選択し、この材料上で培養した結果、細胞は生着して増殖することが明らかとなりました。

従来の生体適合性を有する合成高分子材料は“副作用を起こさないが、細胞が育たない”という性質が知られていましたが、オリジナル材料は“副作用を起こさず、かつ細胞は生着、増殖する”という常識を覆す性質を持つことがわかりました。今回の受賞では、オリジナル材料と新しい細胞を用い、従来の常識を覆す材料を発見したという独創性が評価されたのです。

質問に熱く答えてくださった北上さん。しかし、学部生のころからこの分野に携わっていたのか尋ねると、答えは意外にもNOでした。

学部4年時は無機の電子材料の研究を行なっていましたが、大学院進学の際、新設の現研究室に出会ったそうです。「何事も興味がないとできないので、学部生のうちはいろんなことに興味をもって良いと思う。やる気があれば、なんでもできる」と力強いエールを下さいました。



顕微鏡をみる様子

フレックス大学院スタート!

グローバルリーダーを目指せ! 連続講演会のご案内

2013年4月「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」がスタートしました!

「平成24年度 文部科学省 博士課程教育 リーディングプログラム」の一環として設立され、5年一貫教育によって博士を養成し、有機材料の分野でグローバルに活躍するリーダーとしての資質をもつ人材として社会に送り出そうというプログラムです。「リーディングプログラム」にはいくつかの種類がありますが、「オンリーワン型」に採択されたのは、東京大学、千葉大学、秋田大学、長崎大学と本学だけ。教育力が高く評価され、5/38という難関を突破し採択されました。

どの企業や組織に就職しても、グローバル化する世界に立ち向かっていかなければならない実情。就職に向けたモチベーションアップの処方箋はやはり、活躍する現役グローバルリーダーの生の声を聞くことでしょう! フレックス大学院に興味のある方もない方も、「フレックス大学院連続講演会」に是非ご参加ください!

山大生なら誰でも受講できますよ。詳しくは、工学部HPで。

6月19日(水)16:00～17:30 百周年記念会館セミナールーム トヨタ自動車有機材料部門 博士(工学)黒瀬隆 氏
「グローバルな研究開発・事業化をリードするために求められる能力と人材とは」

6月20日(木)16:00～17:30 工学部4号館ゼミ室3 P&Gシンガポール 博士(工学)瀬川縁氏 氏
「女性博士研究者へのキャリアデザイン」

6月26日(水)16:00～17:30 百周年記念会館セミナールーム DuPont Asia Pacific 博士(工学)賀来群雄 氏
「グローバルな研究開発・事業化をリードするために求められる能力と人材とは」